学校給食調理施設への空調設備導入 に向けたサウンディング型市場調査

結果概要

令和6年11月

船橋市

1. サウンディング型市場調査の開催概要

(1) 調査の実施経過

日付	内容
令和6年7月16日(火)	実施要領の公表
令和6年8月15日(木)	参加申込期限
令和6年8月26日(月)	提案書の提出期限
令和6年9月5日(木)～10日(火)	サウンディングの実施

(2) 参加事業者数

本調査には、5事業者の参加がありました。

2. サウンディング型市場調査の対話内容

各項目の主な意見・提案は次のとおりでした。今後、これらの提案等を参考に検討を進めます。

項目	主な意見・提案等
(1) 空調設備の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調方式は GHP（ガス）／EHP（電気）のミックスとし、学校毎にインフラ整備状況を把握したうえで分散して採用することを推奨 ・ GHP／EHPの方式は、ライフサイクルコスト及び運用を軸に各校の状況に合わせて選定する ・ 室外機は GHP／EHPどちらの採用も可能だが、室外機想定位置が隣地境界線に近い場合は GHP の採用は困難 ・ 空調機器は、調理室・洗浄室等の厳しい環境に適した機種（ステンレス製の厨房用天井吊型空調機）を選定 ・ 空調負荷 250W/m²～450W/m²を推奨 ・ 特定のスポットを集中的に冷やしたい場合はノズルの設置も有効。能力は、他市事例から、スポットで冷やすなら 250W/m²～、スポット+aなら 350w/m²～、室内全体を冷やすなら 450W/m²～
(2) 事業手法 1) 最適と考える事業方式	<p>◆ 最適と考える事業方式</p> <p>I. リース方式／プロポーザル型リース方式・・・4 者</p> <p>II. リース方式及びデザインビルド方式・・・1 者</p> <p>◆ 理由</p> <p>I. リース方式／プロポーザル型リース方式 ※重視する観点ごとに整理</p> <p>①迅速な導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計・施工一体型のため、公募から施工までの期間が短縮 ・ 設計・施工・維持管理までを一括で出すことで入札回数を削減 ・ 性能発注のため、設計工期を短縮できる <p>②品質の最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国交省仕様と民間仕様の中で最適な仕様での施工が可能 ・ 一部民間仕様となるがリース期間中の運転性能は確保される

	<p>③財政負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イニシャルコストが抑えられ、支出を平準化できる ・ 点（学校毎）ではなく、面（全市規模）で施工することにより、施工品質の平準化や一括仕入れによるスケールメリットが図れる <p>④技術職員の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性能発注のため、設計・施工管理業務が減る <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リースは、突発故障時の迅速な対応を含んだ事業方式であり、蒸気等が発生しやすく機器にとって厳しい給食室の環境に適する ・ 3年以内の設置完了を目指すのであれば、確実にリース方式 <p>II. デザインビルド（DB）方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計・施工一括のため、要求事項に適切に対応でき、施工までの工期を短縮可能 ・ 保守を含まないため、別途業者との契約が必要になるが、リース方式に比して補助金の対象となりやすく、リース手数料がかからないメリットあり
2) 受注可能な事業方式	<p>◆ 1) 以外に、受注可能な事業方式</p> <p>I. 直接施工方式／年間 15 校以下であれば直接施工も可・・・3 者</p> <p>II. DB 方式・・・1 者 ※上記 1) で DB 方式を挙げた者以外</p> <p>III. PFI 方式・・・1 者</p>
(3) 想定される工期・整備スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各校工期の目安は、屋内作業：夏期休暇期間、屋外作業：2 か月程度 ・ 全体工期は、プロポーザルリースの場合 1～2 か年
(4) 維持管理期間・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：13～15 年間。内容：フィルタ交換（年 2 回）、定期点検・簡易点検、遠隔監視、無償保証 ・ 期間：10～13 年間。GHP はガス会社が提供する遠隔監視システム、EHP はメーカーが提供するシステムを活用し、異常発生を素早く検出することが可能となり、24 時間 365 日、多拠点での空調設備の維持管理を実現
(5) 市内事業者の参画・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内事業者へ声掛けを行い、積極的な活用を図る ・ プロポーザルの場合、市内事業者の参画を評価の際の加点項目に設ける ・ 一定割合以上の市内事業者の活用を施工条件とするならば、それをクリアする体制を確保する
(6) 留意すべき事項・リスク等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入時期が遅れると、物価高騰、労務費の上昇等による価格変動が想定される ・ 全校同時だと、電気・ガス・空調設置工事等の人員不足による遅れや工事品質の低下が懸念されるため、全体工期を 1～2 か年として五月雨式に工程を組むことが望ましい ・ GHP の場合、近隣自治体の発注状況を踏まえると、ガス工事対応が難しいことが予想される。EHP の場合、受変電改修に伴う主任技術者の立会調整が必要となる

(7) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、各業界での人員や物資の不足による施工の遅れ、電気主任技術者等の立会ができず工事が遅れるなどの問題が起きているため、工期には余裕をもっていただきたい ・ 早期に安価に整備を行うために、設計・施工一括のデザインビルド、又はこれに維持管理（保守保証）を付けたリースでの募集を希望 ・ 本事業は比較的大きな事業であり、時間・コストともに相応な負担があるため、より良い提案を自治体が受けられるプロポーザルによる業者選定が望ましい ・ 全校一括発注であれば、規模の経済によりコスト削減になると考える ・ リース事業であれば、金利上昇や事務工数の負担低減、施工のスケールメリット等を考慮し、全対象校一括での契約を推奨 ・ 空調方式（熱源）は事業者の提案に委ねていただきたい
---------	---

3. 連絡先

船橋市教育委員会 学校教育部 保健体育課

担当者 播摩 恩田

電話番号 047-436-3872・2417

FAX 番号 047-436-2877

メールアドレス hokentaiiku@city.funabashi.lg.jp